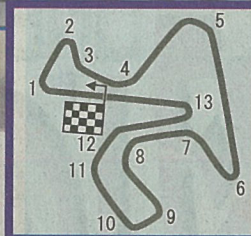


中上

自己ベスト4位

大荒れの中上貴晶(28)が自己ベストの4位に食い込んだ。表彰台まであと一歩届かずも全力を出し切り、一皮むけた表情を見せた。ヤマハセパンのフ



WGP 第3戦
アンダルシアGP
ロードレース世界選手権
決勝 26日 スペイン
・ヘレスサーキット
ペン&カメラ 遠藤智

ーが続き、ヤマハが2014年のオーストラリアGP以来の表彰台独占を果たした。

◆WGP第3戦アンダルシアGP 決勝結果◆

モトGP		25周(完走13台 出走21台)		タイム(差)		G
順	車	ライダー	国籍	チーム	M	
1	20	F・クアルタロ	FRA	セパン/Y	41:22.666	1
2	12	M・ビニャーレス	ESP	ヤマハ/Y	4.495	2
3	46	V・ロッシ	ITA	ヤマハ/Y	5.546	4
4	30	中上 貴晶	JPN	LCR/H	6.113	8
5	36	J・ミル	ESP	スズキ/S	7.693	10
6	4	A・ドビツィオーソ	ITA	ドゥカティ/D	12.554	14
7	44	P・エスバルガロ	ESP	KTM/K	17.488	12
8	73	A・マルケス	ESP	ホンダ/H	19.357	21
9	5	J・ザルコ	FRA	アビティ/D	23.523	15
10	42	A・リンス	ESP	スズキ/S	27.091	20
13	35	C・クラッチロー	GBR	LCR/H	1周遅れ	13
63		F・パニヤイア	ITA	プラマック/D	19周リタイ	3
93		M・マルケス	ESP	ホンダ/H	欠場	-

【注】M(マシン): D=ドゥカティ、H=ホンダ、K=KTM、S=スズキ、Y=ヤマハ。国籍: ESP=スペイン、FRA=フランス、GBR=英国、ITA=イタリア、G=グリッド。ミシュランタイヤ: 前輪はリンスのみソフト、他はハード。後輪は全車ソフト

6年ぶりに表彰台を独占したヤマハ勢。(左から) ビニャーレス、クアルタロ、ロッシ



連勝クアルタロ「ロッシと一緒にうれしい」

ヤマハ6年ぶり表彰台独占

6年ぶりに表彰台を独占したヤマハ陣営はお祭り騒ぎ。涙にくれた前戦の初Vから一転、クアルタロは笑顔振りまいた。「今まで一番苦しかったが、バレンティノーと一緒に表彰台に上れたのがうれしい。僕のアイドルだから」とまわした。そのロッシは3位に食

い込み、昨年のアメリカGP以来、実に18戦ぶりの表彰台だ。「スタートも良かったし、良いレースができた。優勝はできなかったが、それに近い気分」。無観客レースながら、関係者から盛大に祝福された。

★WGPポイント★

モトGP		モト2		モト3	
1	クアルタロ	50	1	アレナス	50
2	ビニャーレス	40	2	鈴木竜生	44
3	ドビツィオーソ	26	3	マクフィー	40
4	中上 貴晶	19	4	小椋 藍	36
5	P・エスバルガロ	16	5	ロドリゴ	30
6	ロッシ	12	16	山中 琉聖	7
8	A・マルケス	10	21	鳥羽 海渡	7
9	M・マルケス	0	25	佐々木 夢	5
				国井 勇輝	0

モト2長島転倒響き11位
○…モト2にアジョから参戦する長島哲太はフリー走行3回目(25日)で転倒し、頭を打ったのが響いて11位。「本来の走りができなかったが、何とかポイントは獲得できた」。今戦を制したエネア・バステアニーニが2ポイント差に迫る中、かろうじてランキング首位を守った。次戦チェコGP(8月9日決勝)から始まる3連戦は「好きなコース」と言う。体調を万全にして突き放す。

ついに!! 表彰台見えた

「マルクは簡単に言えばリアをドリフトさせて減速しながらコーナーに入っていく。リアブレーキの使い方がすごく面白い、ちゃんと2輪で走っている。今年のミシュランはグリップが高いので、グリップをすくくまく使っている。意識してやっているかどうかは分からないが、そういうデータを」と見ると間違いなく天才だ」

「これまでで一番きつくて長いレース」

「7月のヘレスというのは、本当に過酷な条件だった。でも、これから先はいつもと変わらない時期の開催で、コース的にもそれほどきつくない。次からは、表彰台を目標に全力で挑みたい」



過酷なレースを終え、汗びっしょり

セッティングも走りも大変更

中上★一問一答

自己ベストの4位。表彰台まであと一歩だった。

「もう少しだった。3位のバレンティノーに0.5秒足りなかった。表彰台に近かったし、そういう意味で悔しさはある」

先週のスペインGP(10位)から、見違えるような走りになった。

マルクのデータ参考

「2週連続開催なので、徹底的にデータを分析した。マルク(マルケス)のデータも参考に、セッティングに大きな変更を施した。スペインGPは悪すぎた本場に悲しかった。だから思い切った変更ができた。変更点は前後のバランス。これまではフロント加重が大きく、ブレーキングで「輪車状態」をそれリアをもっとうまく使う方向にした。マルクのバイクと比べて、その点が最も大きな違いだった」

乗り方も変えたといっていたけど。

「マルクは簡単に言えばリアをドリフトさせて減速しながらコーナーに入っていく。リアブレーキの使い方がすごく面白い、ちゃんと2輪で走っている。今年のミシュランはグリップが高いので、グリップをすくくまく使っている。意識してやっているかどうかは分からないが、そういうデータを」と見ると間違いなく天才だ」

「これまでも一番きつくて長いレース」

「7月のヘレスというのは、本当に過酷な条件だった。でも、これから先はいつもと変わらない時期の開催で、コース的にもそれほどきつくない。次からは、表彰台を目標に全力で挑みたい」

「1週間のインターバルでチェコ、オーストラリア(2戦)の3連戦。

「7月のヘレスというのは、本当に過酷な条件だった。でも、これから先はいつもと変わらない時期の開催で、コース的にもそれほどきつくない。次からは、表彰台を目標に全力で挑みたい」

「1週間のインターバルでチェコ、オーストラリア(2戦)の3連戦。

「7月のヘレスというのは、本当に過酷な条件だった。でも、これから先はいつもと変わらない時期の開催で、コース的にもそれほどきつくない。次からは、表彰台を目標に全力で挑みたい」

「1週間のインターバルでチェコ、オーストラリア(2戦)の3連戦。

「7月のヘレスというのは、本当に過酷な条件だった。でも、これから先はいつもと変わらない時期の開催で、コース的にもそれほどきつくない。次からは、表彰台を目標に全力で挑みたい」

「1週間のインターバルでチェコ、オーストラリア(2戦)の3連戦。